

No.204
2022.7.20

郷土

庄原コミュニティセンター報

令和4年5月31日現在

世帯数	2,671戸
男性	3,626人
女性	3,858人
合計	7,484人

発行／庄原コミュニティセンター
出雲市斐川町花田3835 (電話)72-4600 (FAX)72-4602

つながる庄原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

6/18
(土)

歴史講演会

演題『出雲の原郷・神庭の郷』

～私たちのふる里は古代出雲の首都だった～

自主企画事業



もりもり元気の出る講演会、藤岡大拙氏による『出雲の原郷(げんきょう)・神庭の郷(さと)～私たちのふる里は古代出雲の首都だった～』を庄原コミュニティセンターで主催しました。

藤岡先生は少年時代のエピソードを話してくださいました。祭りのときに、出雲の境を越え、庄原に入ったあたりから緊張したと。なぜか？ 庄原の同世代の者たちからセゴされるのではないかと恐れたと仰いました。セゴとは、痛い目に遭わせること。いわば「他国」から来た侵入者への制裁です。旧村の村境で起きる若者どうしの諍(いさか)い。今であれば大問題となる人権侵害やイジメもあったでしょうが、古きよき時代のこと、昭和は遠くなりけり。

藤岡先生は庄原が元気だったころを懐かしんでおられました。庄原には華があったと。神庭にあった出雲の政権。その輝が、中央政権の倭健命(ヤマトタケルノミコト)にだまし討ちされて、大将を討ち取られ、軍略に敗れて勢力をそがれた悲しい歴史がありました。

確かに負けはしましたが、誇り高き出雲は今ここに 있습니다。その中核だったのが庄原地区であり、田園が延々と拡張され、給便でも交通の要衝であった庄原。ラフカディオ・ハーンも訪ねてくれた華のある庄原の商店街。今は灯火が減って寂しい。私の目の黒いうちに勢いのあった庄原が蘇ることを願っていますと、90歳元気いっぱいの藤岡先生は話を締めくくられました。



写真でたどる庄原 Vol.1 あの日あの時～そして現在

庄原コミュニティセンター「まちづくり部」では、令和2年度にふるさと庄原の歴史資料を募ったところ、多くの方から資料の提供をいただきました。

提供いただいた資料を写真に収め、「災害」「スポーツ」「学会」「戦争」「にぎわい」「風光」「名士」「文獻」に分類しました。

分類した資料は、入れ替えをしながら庄原コミセンのロビーで展示をしています。その中からピックアップして今月号から毎回このセンター報「郷土」の紙面にてみなさまにお届けします。

懐かしい庄原と現在の庄原。みなさん、楽しみにしててください。

お手元に懐かしい写真などがありましたら、庄原コミセンまでご持参ください。



松江航路の汽船就航式



現在の様子

明治35年(1902)、庄原は松江航路の船着き場となった。汽船就航の日、出迎えた人々は正装で万国旗を飾り、大いに祝賀した。現在、船川は埋め立てられて、ごく小さな水路となっており、昔日の面影はない。

6/12
(日)

新聞・ニュースで話題の「高瀬山」 整備された登山道を登り、山頂から 戦国時代の景色に想いを馳せる

講師：尼子十旗顕彰会ガイド委員の皆様

健康

スポーツ部

自主企画事業

高瀬山登山口には、17名の小学生とその保護者の方々、荘原地域内外からの参加者とスタッフの、総勢72名が集まりました。荘原小学校PTA保健体育部さんとの共催事業で、初めて実施した高瀬山歴史登山。3つの班に分かれて登山開始です。

登山道は、昨年度発足された尼子十旗顕彰会の皆様によって下草が刈りとられ、要所は樹木も伐採され見通しよく整備されていました。また危険な箇所の修繕や各種案内板等も設置され、誰でも気軽に登れるように配慮されています。

道中の重要なポイントではガイドの皆さんによる詳しい説明がありました。二の丸、三の丸(鉄砲立)や七曲りの坂などについて、敵の攻めから防御するための工夫や、道中の駐置き場や曲輪について分かりやすく解説していただきました。また、山頂や中腹にある大きな穴の説明で、「米原氏の埋蔵金が埋められていた説もあります。」という話をされると、子どもたちも興味津々で聞き、実際に穴の中に入っていく子どももいました。



左右の急斜面や細い道を歩くだけで、山城であったことや、守るための工夫が随所になされているのだからと感じることができます。すれ違った一般登山者の方からも「大変いい山ですね。きちんと整備されていて広いところもあって素晴らしいですね。」と言葉をかけられました。

「高瀬山って何十年も登ってないわ。」という方は、是非登ってみてください。少し険しい箇所もありますが、整備された登山道を登り案内板を見るだけでも、戦国時代の山城の様子がよくわかると思います。

登山の案内と分かりやすい歴史の話をしてくださった尼子十旗顕彰会の勝部哲様、保科晴夫様、昌子昭人様、佐藤晃一様、ありがとうございました。



参加者の感想 (一部抜粋)

- *以前登った時よりも整備されていて登りやすかった。相当のご苦労お察し大変ありがたく思います。
- *地元の歴史や名所を探索し、地域の良いところを発掘し皆で広めていけることは素晴らしいと思います。
- *ガイドさんの郷土愛、想いが伝わってきた。子どもたちが郷土に興味を持つきっかけになるのではと思いました。

6/3
(金)

ふれあい交流部

笹巻き作り 自主企画事業

出雲地方では古くから月遅れの端午の節句に家々で笹巻きを作り、男子の無事成長を祈願し、神に供える風習があります。今年も荘原保育園・東部保育園の子どもたちと一緒に笹巻き作りを行いました。美味しい笹巻きを作るんだと朝から気合十分の子どもたち。「ふれあい交流部」のみなさんは、そんな子どもたちに元気をもらいながら笹巻き作りを教えてくださいました。



核家族が増えて、家庭で笹巻きを作る家は少なくなりました。笹巻き作りを通して、出雲地方の食文化に触れることができました。また、短い時間ですが、世代を超えての交流ができ、有意義な時間を過ごすことができました。



7/1
(金)

Showバラの会

花がら摘み

5月初旬から私たちの目を楽しませてくれた荘原コミセンの薔薇。見頃を終えたので、講習会を兼ねて「花がら摘み」を行いました。薔薇は切ることで成長するため、咲き終えた花を摘み、そして次の花芽を出すために枝を整えます。あわせて草取りもしていただいたので、秋には綺麗な花を咲かせてくれることでしょう。

暑期中参加してくださった「Showバラの会」会員の皆さん、ありがとうございました。



花の下の
この5枚葉の
部分を切って...

なるほど～

草取りの様子。とても綺麗になりました。

5/23
(月)

さつまいも・大豆畑 自主企画事業

5月23日(月)、晴天に恵まれ、荘原幼稚園・東部保育園の園児の皆さんと、さつまいもの苗植えをしました！こども倶楽部部長のさつまいもについての説明に真剣に耳を傾ける園児の皆さん。説明が終わるときちゃんと整列して、丁寧にさつまいもの苗を植えました。皆が心を込めて植えたさつまいも、現在ぐんぐん成長しています。こども達が作った看板も掲げてありますので、どうぞ皆さんご覧になってくださいね。



さつまいもさん
元気に大きくなってね！

こども倶楽部



美味しくな～れ！



6/11
(土)

子どもニューススポーツクラブ(放課後子ども教室) 子どもニューススポーツクラブ 始まりました

追加参加者募集中
【毎月1回実施】



6月11日土曜日 今年度からの新企画「ニューススポーツクラブ」が始まりました。

スポーツ指導の専門講師さんに教わりながら、楽しく元気に健康的にニューススポーツを楽しむクラブです。

初回は、「スポーツ吹き矢」と「バグー」という二つの競技に挑戦しました。

最初は「スポーツ吹き矢」に挑戦です。参加した6名の子どもたちは、おっかなびっくり筒に矢を入れ、姿勢を整え、息を整え強く吹きます。本来なら10m離れた的を狙いますが、初回は一番前から挑戦。「スバッ!」という音と共に気持ちよく的に当たることもあれば、息がうまく入らずに落ちてしまうこともあります。

「真ん中に当たった!」「最高点が出た!」と、一喜一憂しながら楽しみました。

「バグー」は、輪投げのようなスポーツです。布製の四角い持ち球を床に置いた的の中ほどに空いた穴に入れば3点、的に乗れば1点というシンプルなルール。シンプルゆえに盛り上がりやすい。個人戦やチーム戦を行って、何試合も楽しく取り組みました。

今後も月一回の計画で、様々なスポーツに取り組みます。多くの子どもたちの参加をお待ちしています。希望者は荘原コミセン(電話72-4600)まで連絡ください。

6/18
(土)

子どもお花クラブ(放課後子ども教室) 8名の新しい仲間を迎えて 17名でスタート



6月18日土曜日から今年度の活動が始まりました。

今年のリーダーは5年生の5人です。継続して取り組んできた子どもばかりなので、準備や片付けの時には講師の先生を手伝い、新しく加入した1年生たちの水を汲んであげたり、アドバイスをしたりしながら先輩らしい姿を見せています。

荘原小学校の1年生から5年生の男女が参加する子どもお花クラブ。2人の講師先生は、花や花器を選んだ理由や、好きなところを子どもたちに発表させながら進められます。また、出来上がった作品は前に並べて鑑賞会を行います。自分の作品を紹介した後は、一人ひとりが持っている「お花ノート」にその日の活動の記録を残しています。花の生け方、花器の選び

方などの技だけでなく、花や花器と対話する心も磨きます。子どもたちは講師の方の話を聞きながら、選んだ花のお気に入りの部分がよく見えるように配置したり、友達の見方や考え方を聞いたりしながら感性豊かに取り組みます。

10月15、16日に開催予定の文化祭の作品展示と、年度末に開催されるミニ展覧会で、地域みなさんに作品を見てもらえるようにがんばって取り組んでいます。楽しみにしてください。



1 班
5/10
(火)

2 班
5/19
(木)

3 班
5/20
(金)

莊原の地名からたどる 莊原の歴史

ふれあいサロン
おいでませの会



昨年度に好評だった莊原地区の歴史の話を莊原在住の保科晴夫さんに引き続きお話ししていただきました。今年度は、莊原地区の地名に焦点を当て、江戸・明治時代の頃までさかのぼり、地名の由来や地名にまつわる話を聞きました。

昔の莊原の話を聞き、会員さんもボランティアさんも懐かしく昔を思い出しておられるようでした。



1 班
6/7
(火)

2 班
6/16
(木)

3 班
6/17
(金)

莊原小学校1年生さんと 七夕交流しました!



莊原小学校1年生のみなさんと交流会をしました。

今年度もコロナが流行する前のように肩たたきや握手をすることはできないため、密にならないように気をつけながらの世代間交流でした。

子どもたちと一緒に七夕飾りを作りました。折り紙で七夕飾りに挑戦する子どもたち。会員やボランティアのみなさんに教えてもらいながら、あみや饅頭などを作っていました。短冊に願いごとを書きました。中には「コロナがなくなりますように」「せんそうがなくなりますように」と書いている子もいて、そんな願いごとをしなくてもいい「穏やかで平和な世の中でありますように」と願わずにはいられませんでした。



5/21
(土)

「喫茶やまももオープンカフェ」を 開催しました！

「やまももの会」喫茶部・総務部



荘原コミセン駐車場を囲む色とりどりの満開のバラの花の優しい香りに包まれて「喫茶やまももオープンカフェ」を開催しました。

「斐川バラのオープンガーデン」に合わせた開催だったこともあり、荘原地区内外から62名の来場がありました。

「愛・美・想う人の気持ちを伝える」という魅力的な花言葉を持つバラの花。コーヒースタンドのセットメニューに会員の娘さんが作られた折り紙のバラの花を添え、席が足りなくなるときもあるほどでした。来場の皆様の笑顔は、コロナ禍の中でも「地域を元気にするのが私たちの使命」という言葉を抱き続け活動している私たちのパワーの源になりました。

幸せがいっぱいつまった穏やかな時間を感じていただけたのではと思います。

6/4
(土)

奥出雲散策

「やまももの会」レクリエーション部

昨年度はコロナ禍による延期と中止で実施できなかったため、今年度は絶対に実施するぞとレクリエーション部担当3人で企画し、29人の参加がありました。

まずはリニューアルオープンした永井隆記念館へ行き、永井博士の偉大な功績に感動し、世界恒久平和を祈りつつ記念館を後にしました。続く鬼の舌の散策では、バリアフリーの歩道が歩きやすかった半面、以前は岩場や川の流れを間近に見ていたことを思い出すと何か物足りなさを感じました。

天気に恵まれ、久しぶりのお出かけで参加のみなさんの顔がとても満足そうで楽しい一日を過ごすことができました。この活動を通してコロナ禍で閉じこもりがちな体と心の両方がリフレッシュできました。



5/27
(金)

春の寄せ植えと 荒神谷遺跡を学びました

「やまももの会」社会文化部



荒神谷史跡公園で三加茂幸子さんを講師に迎え、花の入れ方、花を長く楽しむ方法など「春の寄せ植え」を企画し21名の参加がありました。参加者それぞれに可愛らしく素敵な寄せ植えが完成しました。



後半は国指定の荒神谷遺跡発掘現場に行き、宍道年弘さんから発掘から今までの出来事や苦労されたお話を伺いました。散策ルートをもとに「三宝荒神」まで行き、遠い昔に想いを馳せたひとときでした。



1班
5/14
(土)

2班
5/17
(火)

3班
6/14
(火)

ゴキブリ団子作り



「やまももの会」では毎年、新玉ねぎの季節になるとゴキブリ団子を作ります。

このゴキブリ団子は地域のみなさんに大変好評で、5個、10個とまとめて買い求めてくださる方もあります。

年々リピーターが増えていますが、今年は特に売り切れるのが早かったため、例年より回数を増やし3回のべ34人で作りました。地域のみなさんに喜んでいただけることが、活動を続けている私たち「やまももの会」の会員の励みになっています。



今までありがとう!

ありがとう はな☆花クラブの皆さん

約20年! 荘原コミセンの花壇を季節の花々で彩ってくださった「はな☆花クラブ」が、令和4年6月を以て解散されることとなりました。

種まきに始まり、苗植え、草取り、水やり……暑い日も寒い日も花々のお世話をしてくださったからこそ、荘原コミュニティセンターはいつも綺麗な花に囲まれていました。荘原コミュニティセンターの利用者の皆様からも「花が綺麗に咲いたね」「この花はいつも綺麗だね」と、いつも声をかけて頂きました。「はな☆花クラブ」の皆さんが精魂込めて育てられた花々を見て、四季の移ろいを感じた方、心穏やかな方は数えきれない程いらっしゃるでしょう。

長い間本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。



活動の様子



季節の花：マリーゴールドと荘原コミセン



文化祭では寄せ植えの展示も



2007年7月20日発行 響き134号から引用



感謝状を贈呈しました



2008年9月20日発行 響き137号から引用



6/12
(日)

宍道湖中海一斉清掃

出雲市環境保全連合会荘原支部



6月12日(日)7:00から出雲市環境保全連合会荘原支部は、地元のしじみ協会の皆さんと共にごみ拾い活動を行いました。新田下の排水機場を起点に、ごみを拾っていくと、たばこの吸い殻や空き缶をはじめ、大小様々なごみが落ちていました。故意に捨てられたであろうごみを見ていると、悲しい気持ちになりました。この一斉清掃には、もっとたくさんの方に参加頂き、活動を通してゴミの現状を知っていただくとともに、環境保全への意識を高めて頂ければと思っています。よろしくお願いします。

この取り組みに参加して、宍道湖の周りを綺麗にしてくださった皆さん、どうもありがとうございました。



5/29
(日)



ひかわキレイマルシェ

～今ここにあるモノ・ヒト・コトの良さに気づく～

主催 元気な斐川を創る会
ひかわキレイマルシェ実行委員会
後援 荘原地区自治協会
荘原コミュニティセンター

5月29日快晴の下、「第7回ひかわキレイマルシェ」を開催しました。

24店舗の出店者様、2,000人の来場者の皆様が楽しみに待ち望んでいたマルシェを運営できることにスタッフ一同喜びを感じることができました。

今回も地域のいろいろな世代の皆さんに参加していただきました。事前に荘原小学校の5,6年生に斐川に関する問題を作ってもらい、クイズラリーを行いました。当日は集会室に自主的に16名の5年生が来てくれて、クイズの読み上げ、ヒントの提示、景品渡しとみんなで分担して進めました。参加した親子や小学生、地域の人と和やかに交流しました。

同じ会場での「斐川いいところ探し」では「エコフレンドリー倶楽部」の方たちが3か月かけて作った新聞エコバックをいいところを書いてくださった人にプレゼントしていただきました。斐川東中学校のボランティアの6人の生徒さんと一緒に活動し、こんないいところがあるんだと感心しながら世代間交流ができていました。斐川というすてきな場所にこんなかわいい子どもたちがいることに嬉しさがこみ上げます。



また外の会場ではお目当てのお店にいち早く買い物に行かれる人、長い行列でもお知り合いと話をされながら順番を待っていた人もいました。

斐川で農業に携わっている若い人や地元の産物を使ったお菓子や惣菜、お弁当、雑貨等みんな応援したくなるすてきな出店者さんとの会話を楽しんでいる人もいました。

Withコロナの状況下での地域のつながりの場を求め、斐川の頑張っている人を応援し、また地域のいい人、いいところを発見し、だれもが集える場所、ほっと落ち着ける心のふるさとにできるマルシェをめざして来年も開催できるよう頑張りたいと思います。



7/7
(木)

荘原コミセン 自衛消防訓練の実施



荘原コミュニティセンターでは、火災時の職員の役割分担の確認とコミセン利用者の安全な避難誘導のため、定期的に訓練を行っています。

この日は「実習室」から出火したと想定し、非常ベルを鳴らし、全館放送で避難呼びかけ、避難誘導を行いました。その後、消火器の使い方を練習し、消火訓練を行いました。

正しい知識を身に付け、いざという時に冷静に判断し行動できるようにしたいものです。



ご寄付いただきました

荘原コミュニティセンターにご寄付いただきました。地域のために有効に使わせていただきます。ありがとうございます。

年金受給者協会
荘原支部 様



お礼

「高倉クラブ荘和会」様よりタオルの寄贈がありました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



ご寄付御礼

香典返し 金一封

原 嘉緒様 (川東自治会)
須田比奈子様 (共栄自治会)
神門延子様 (大倉自治会)
昌子正志様 (中本町自治会)

皆様から寄せいただきました香典は、荘原地区内の社会福祉事業に活用させていただきます。誠にありがとうございます。ご寄付は随時、荘原コミュニティセンターで受け付けております。